

中央の森式番街
管理組合ニュース
第32期第12号(通算第36号)
発行日：2014/4/8



2014年3月防災訓練結果報告

3月9日(日)に行った定例の防災訓練の参加者は、自主防災会メンバーも含め88名でした。昨年の参加者100名から減少したのは、昨年に行った体験や訓練と同じことが行われると思われた方が参加を見合わせたためと推定しています。しかし、円形広場で行ったアンケート記入内容から、初めて参加された方も見受けられ、その点では良かったと思います。なお、今年も体験や訓練のプログラムの間に、待ち時間が出てしまいましたが、参加者各位のご協力で予定のプログラムをどうにか完了することができました。ありがとうございました。以下に結果概要を報告致します。

自主防災会事務局・管理組合防災専門委員長 今村 卓

今回の訓練の特徴

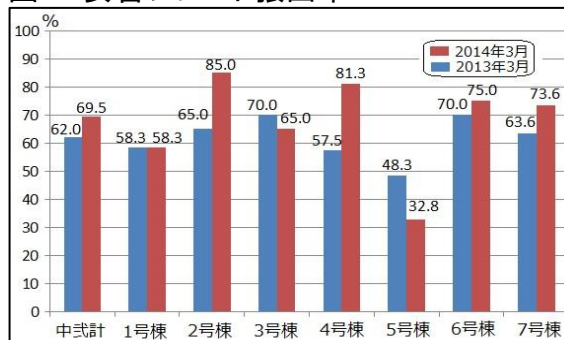
- ① 昨年まで行っていなかった自主防災会組織の各班の訓練を追加した。
- ② 昨年11月の訓練から導入した「安否表示プレート」(以下、安否プレート)の認知度向上を目指した。
- ③ 安否プレートで「支援求む!」が張出された際に対策本部への伝達を行い易くするため、ボランティアの安否確認を出来るだけ2人1組で行う訓練とした。
を主体に行いました。その他として、以下を追加実施しました。
- ④ 防災対策アンケートに、ご家庭での飲料水備蓄量の調査を加え、計3種のアンケートを実施した。
- ⑤ 新しい試みとして、防災グッズのカタログと購入申込書を設置した。
- ⑥ 中武居住者宅の実際に行われている防災対策例として、家具転倒防止、冷蔵庫移動防止、開き戸の解放防止の対策写真を掲示しました。対策をこれから行う方に参考になったと確信しております。今後も企画しますので、ご自宅の自慢の対策例を撮影してご応募ください。

安否プレートでの安否確認結果

初めて導入した昨年11月訓練の張出率は62%で、今回は約70%でした。
今回は、張出をお願いした時刻と

訓練開始が同時刻であったため、張出が確認後になったご家庭がありました。因って今回は、安否確認開始30分以前の張出をお願いしました。
図1が号棟別の結果です。

図1 安否プレート張出率



昨年より3号棟が5%、5号棟が約15%低下しましたが、2、4、6、7号棟は5~25%増加しました。

5号棟は他の棟と異なる数値と傾向を示していますが、安否プレート張出訓練の連絡が行き渡らなかった可能性があるようです。当然ですが、災害時には事前の張出のお願いはあり得ませんので、今後も訓練を通じ、「安否プレート張出運動」の浸透を図りたいと思います。

実際の災害時の張出依頼は、ハンドマイクでお願いする方法が第一候補ですが、情報伝達方法には、工夫が必要であることも判明しました。

アンケート調査結果

家具転倒防止対策、食器棚ガラス飛散防止対策、飲料水備蓄量のアンケートを行いました。

家具転倒防止対策、食器棚ガラス飛散防止対策結果を図2と図3に示します。この2つの対策は前年よりも「対策済」、「一部対策済」が増えずに、「未対策」が増えました。おそらく、対策したいが何をしたら効果あるのかお悩みの方、東日本大震災から時間が経って不安が薄れてきている方なども今回は訓練に参加されてアンケートに記入されたのではないかと思います。

図2 家具転倒防止対策(今回記入者数=62)

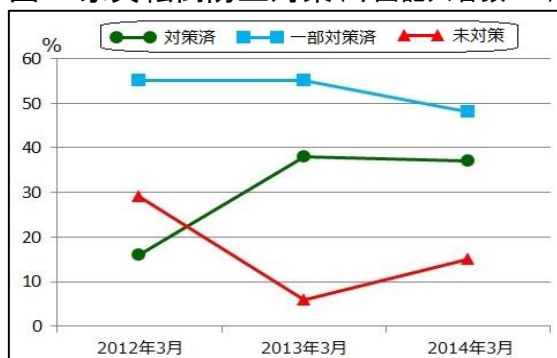


図3 食器棚ガラス飛散防止対策
(今回記入者数=58)

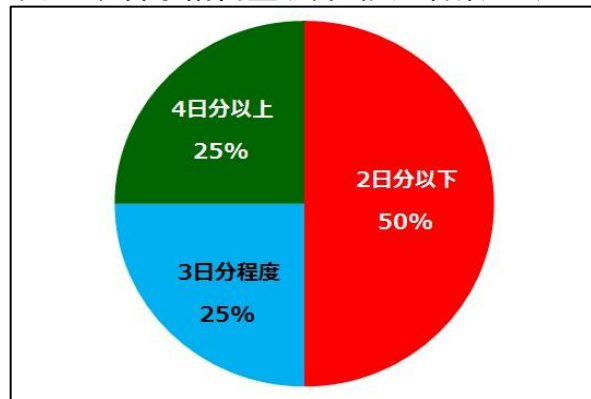


対策実施は個人の判断に委ねざるを得ませんが、対策方法の相談先や実際の工事実施先の案内が必要であれば、自主防災会として調べることも必要性がありそうです。

図4は、今年初めて実施した飲料水備蓄量のアンケート結果です。

2月発行のファミリータイムズ(第32期第1号・通算86号)にても触れましたが、最近では7～10日の備蓄が必要と言われています。今回は初めての調査なので、従来から言われている3日分を中心に集計しました。

図4 飲料水備蓄量(今回記入者数=56)



当日には、集会所地下の給水プラントにおいて、停電時の非常用エンジンを用いた給水システムや非常用エンジン停止後の水の取出し方法の紹介をしましたが、志木市からの水道水の補給が止まった場合は、タンクの備蓄水量は、1日分にもなりません。各家庭での非常用の飲料水の備蓄は、大変重要です。

自主防災会各班等訓練

災害後初期活動は、特に『統括班』、安否確認担当の『安否確認・救出救護・避難誘導班』、『号棟担当班』と『災害ボランティア』の活動が必須です。

そのため、各班、ボランティアの集合者数を把握して人数不足班に振分ける等の訓練を試行しました。

各班の活動の強化を図らないと災害時に役立つ自主防災会にはなりません。今後、3月の定例訓練は住民を含む総合訓練、志木ニュータウン8街区合同防災訓練時(11月頃)は、班訓練主体に変更することを検討したいと思います。



訓練終了、自主防災会会長による挨拶風景。
ボランティアの人は、今回から専用のベストを着用。